



# 県内経済情勢 (令和5年10月判断)

令和5年10月25日

財務省関東財務局  
千葉財務事務所


照会先

千葉財務事務所 財務課 (TEL 043-251-7213)

ホームページ <https://lfb.mof.go.jp/kantou/chiba/>

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、持ち直している」









項目	前回（5年7月判断）	今回（5年10月判断）	前回比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	持ち直している	

（注）5年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（5年7月判断）	今回（5年10月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	緩やかに回復しつつある	
生産活動	弱含んでいる	持ち直しつつある	
雇用情勢	持ち直している	持ち直しのテンポが緩やかになっている	
設備投資	5年度は増加見込みとなっている	5年度は増加見込みとなっている	
企業収益	5年度は増益見込みとなっている	5年度は増益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を下回っている	

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

物価上昇の影響がみられるなか、百貨店及びスーパー販売額、ドラッグストア販売額などは前年を上回っている。乗用車の新車登録届出台数は前年を上回っている。娯楽や飲食サービスなどは緩やかに回復しつつある。このように個人消費は、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 帰省をはじめ外出が活発になったことで和菓子などのギフト需要が回復しているほか、化粧品においてもコロナ禍で制限されていた対面接客が増加したことで売上が前年を上回っている。(百貨店・スーパー)
- 記録的な猛暑の影響によりアイスや飲料の売上が例年以上に良かった。また、物価上昇に対する生活防衛意識の高まりからか、安価な商品の購入が増えている感がある。(百貨店・スーパー)
- コロナ5類移行後、来店客数が回復している。外出頻度が高まったことで風邪薬や化粧品の売上が前年を上回ったほか、猛暑の影響で冷感グッズや経口補水液の売上が伸びている。(ドラッグストア)
- 猛暑の影響で園芸用品やレンガ・ブロック、脚立等の屋外商品の動きは鈍いものの、扇風機やエアコンなどの季節商品や旅行需要の回復からスーツケースが好調となっている。(ホームセンター)
- 各種イベントの実施により来場者数は好調に推移している。特に今年は台湾や韓国、東南アジアからの訪日外国人を中心にインバウンド需要が大きく伸びている。(娯楽)
- 外食需要は引き続き堅調であり、仕入価格等の上昇分も価格転嫁できているため売上は前年を上回っているが、足下では伸びが鈍化してきており、更なる物価上昇を懸念している。(飲食サービス)

### ■ 生産活動 「持ち直しつつある」

生産を業種別にみると、汎用・業務用機械、化学などが減少しているものの、石油・石炭製品、鉄鋼、金属製品などが増加しており、全体としては、持ち直しつつある。

- 中国をはじめとする海外需要の減少や供給過剰の影響で、当社のプラント稼働率は低下している。また、原料であるナフサ価格も上昇しているが、製品需要が低迷しているため価格転嫁が十分に行えていない。(化学)
- 人材不足や資材価格高騰により土木建築向けで需要の先送りが継続しているものの、自動車向けを中心に需要が改善しているため、生産量は増加傾向にある。(鉄鋼)
- これまでは完成車メーカーの半導体供給不足による生産調整の影響を受けていたが、自動車生産が改善していることで、生産量も徐々に回復している。(金属製品)

### ■ 雇用情勢 「持ち直しのテンポが緩やかになっている」

有効求人倍率は低下している。新規求人数は増加している。雇用保険受給者実人員は前年を上回っている。このように雇用情勢は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

- 定着率向上のため、従来以上に新人教育におけるコミュニケーションを強化した結果、若手従業員の自己都合退職は減少している。(製造業)
- パート募集に関して、都心部の店舗で募集をかけると比較的容易に集まるものの、県東部や南部地域の店舗では必要人数の確保が難しくなっている。(小売業)
- 人材確保のため専担部署を新設し採用体制を強化するとともに、研修制度充実等による人材育成や早期戦力化のインフラ整備のほか、賃上げや時給改定による待遇面の見直しも行っている。(飲食サービス)

### ■ 設備投資 「5年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年7~9月期

- 製造業では前年比増減率24.3%の増加見込み、非製造業では同18.9%の増加見込みとなっており、全規模・全産業では同19.3%の増加見込みとなっている。

### ■ 企業収益 「5年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」5年7~9月期

- 製造業では前年比増減率21.7%の減益見込み、非製造業では同17.9%の増益見込みとなっており、全規模では同15.2%の増益見込みとなっている。

### ■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年7~9月期

- 先行きについては、5年10~12月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

### ■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家、分譲住宅、貸家のいずれも前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

### ■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 公共工事請負金額をみると、前年を下回っている。

# 県内経済情勢 (令和5年10月判断)

## (資料)

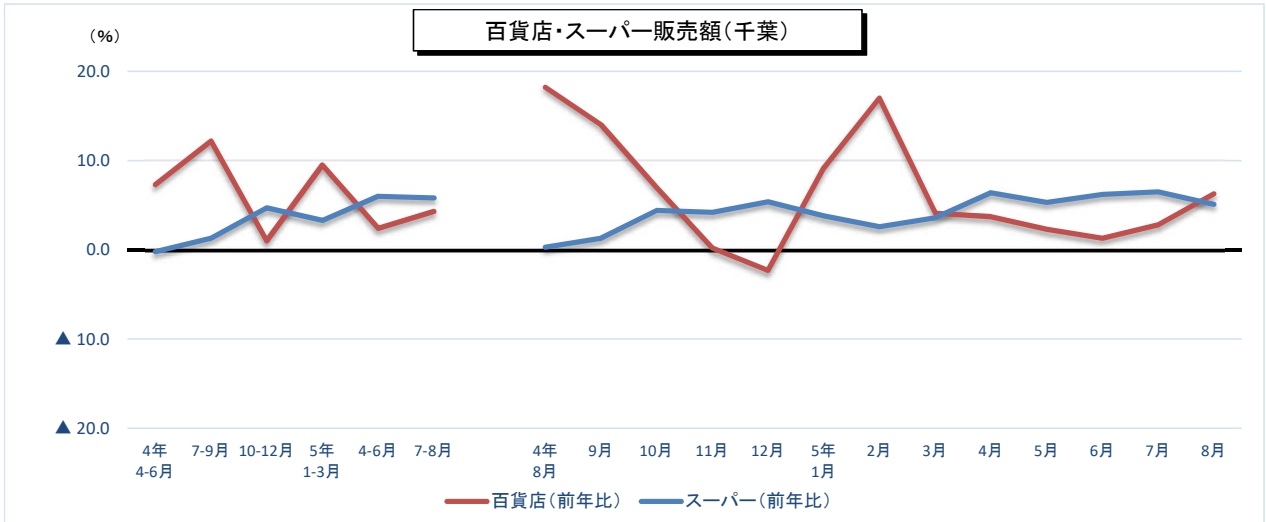
目次	(頁)
1 . 個人消費 . . . . .	1
2 . 生産活動 . . . . .	2
3 . 雇用情勢 . . . . .	3
4 . 設備投資 . . . . .	4
5 . 企業収益 . . . . .	4
6 . 企業の景況感 . . . . .	4
7 . 住宅建設 . . . . .	5
8 . 公共事業 . . . . .	5

令和5年10月25日

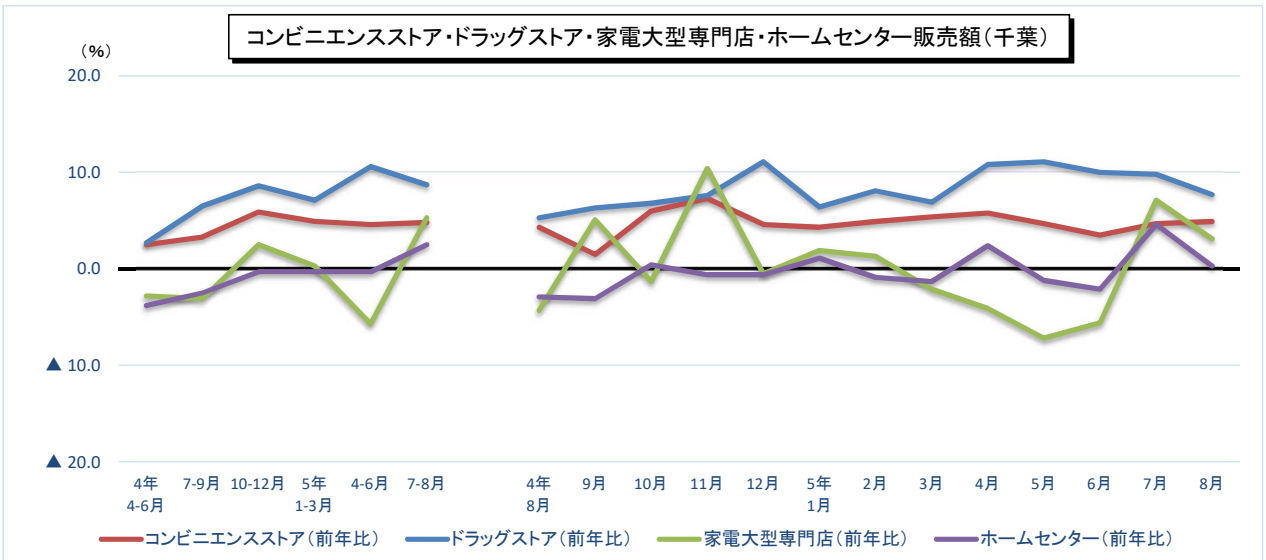
財務省関東財務局  
千葉財務事務所

# 1. 個人消費

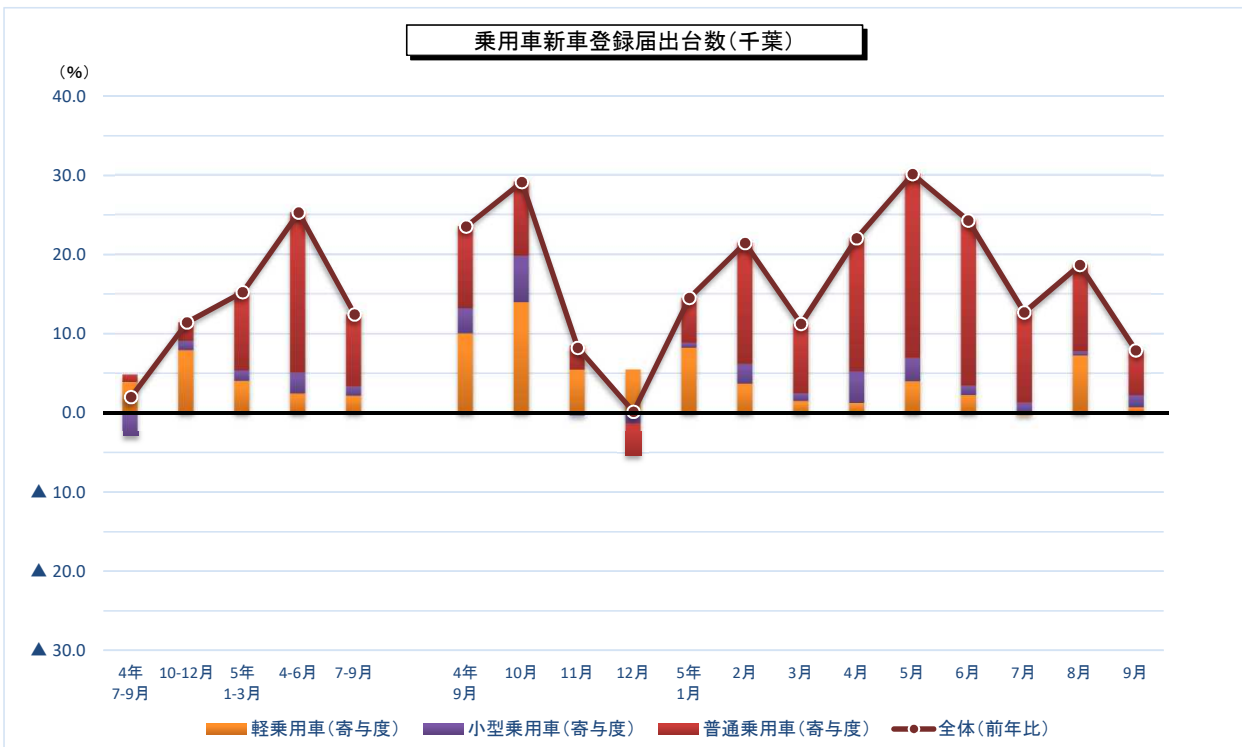
緩やかに回復しつつある



[経済産業省]



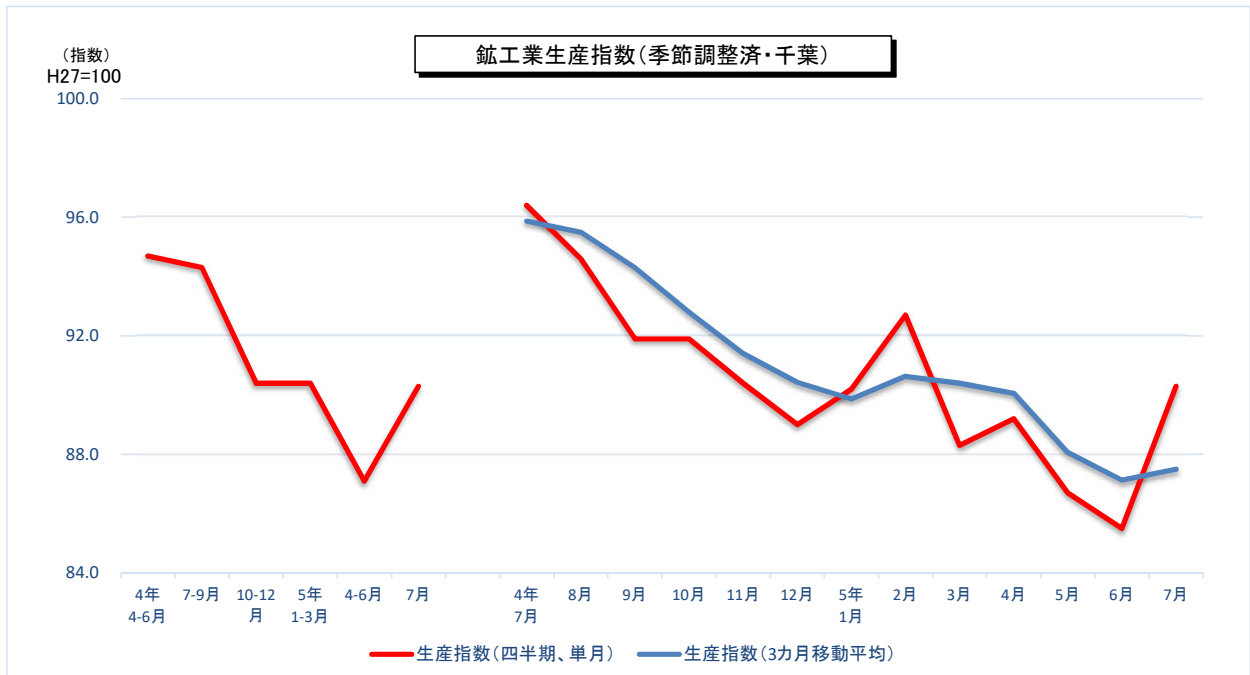
[経済産業省]



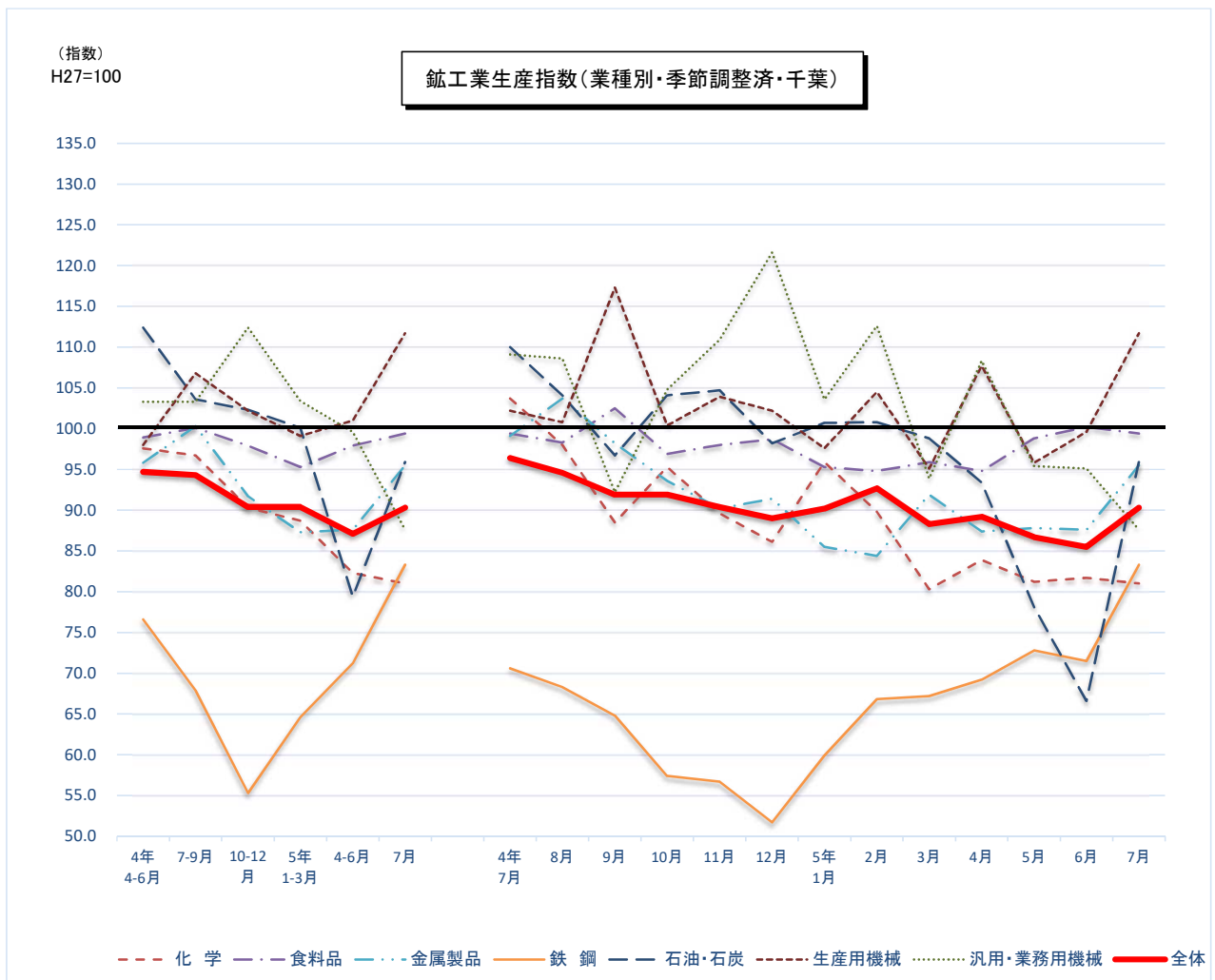
[日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会]

## 2. 生産活動

持ち直しつつある



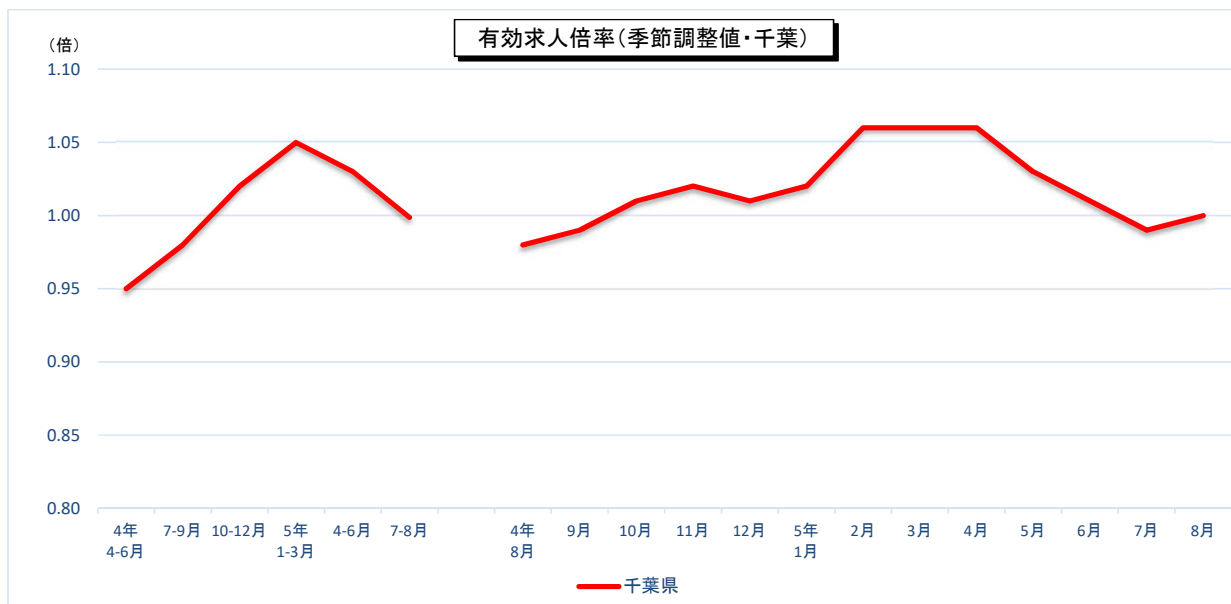
[千葉県]



[千葉県]

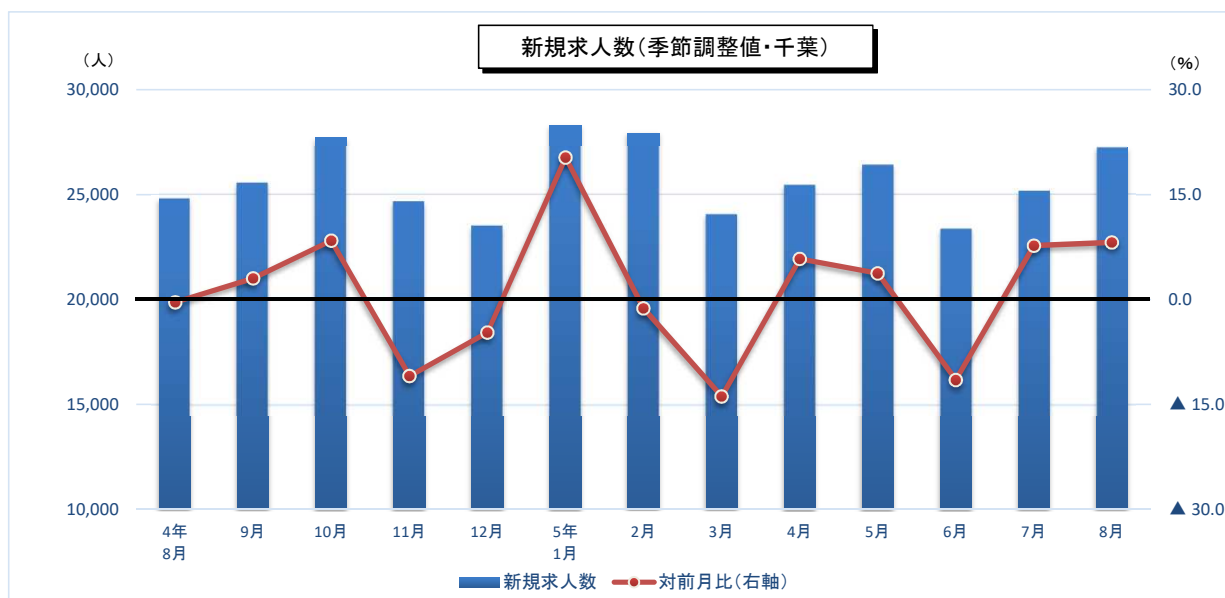
### 3. 雇用情勢

持ち直しのテンポが緩やかになっている

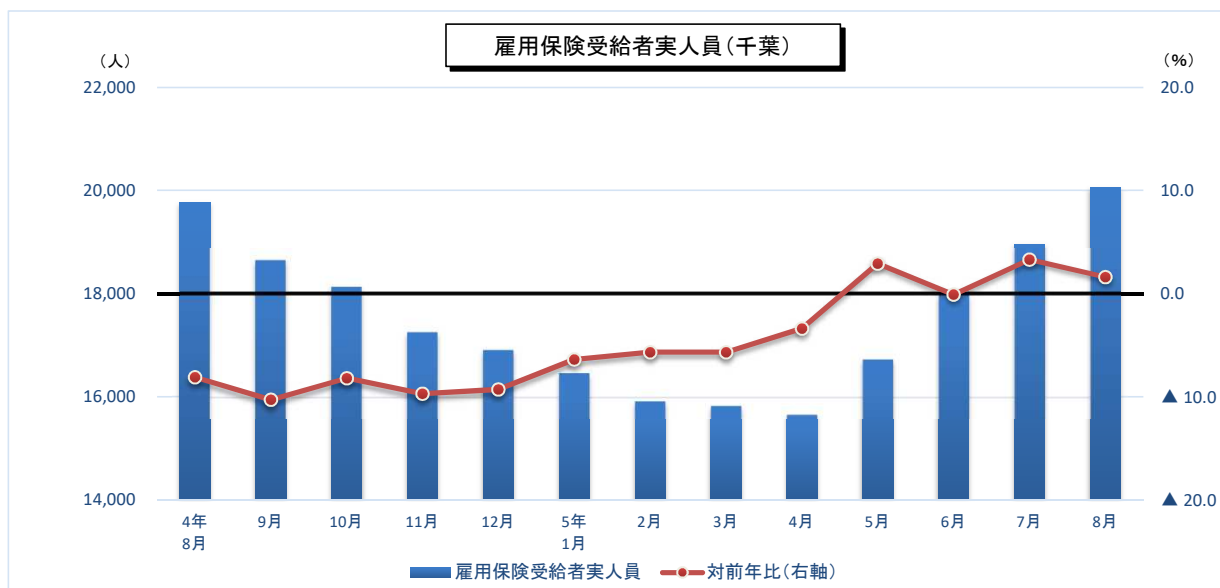


(注)四半期は期中平均である。

[千葉県労働局]



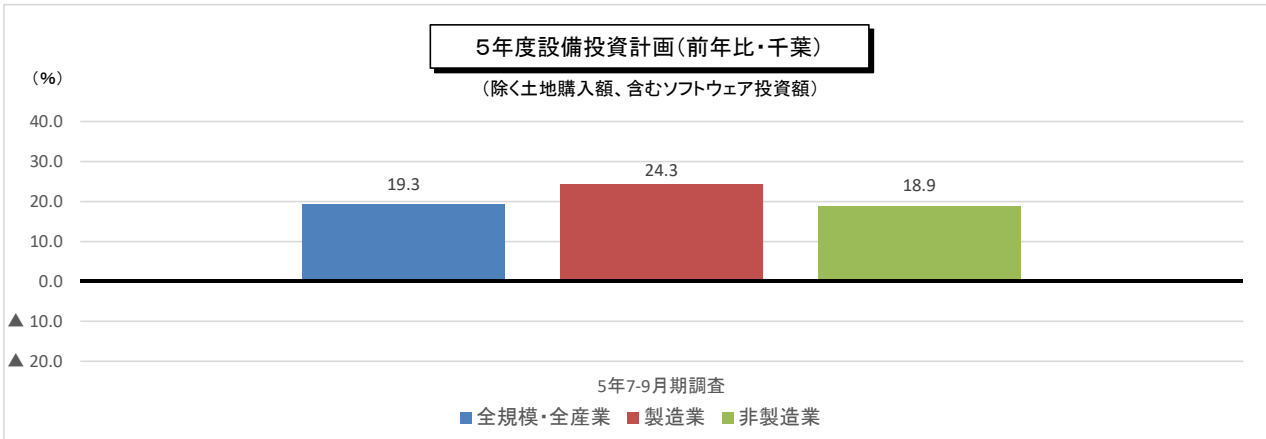
[千葉県労働局]



[千葉県労働局]

#### 4. 設備投資

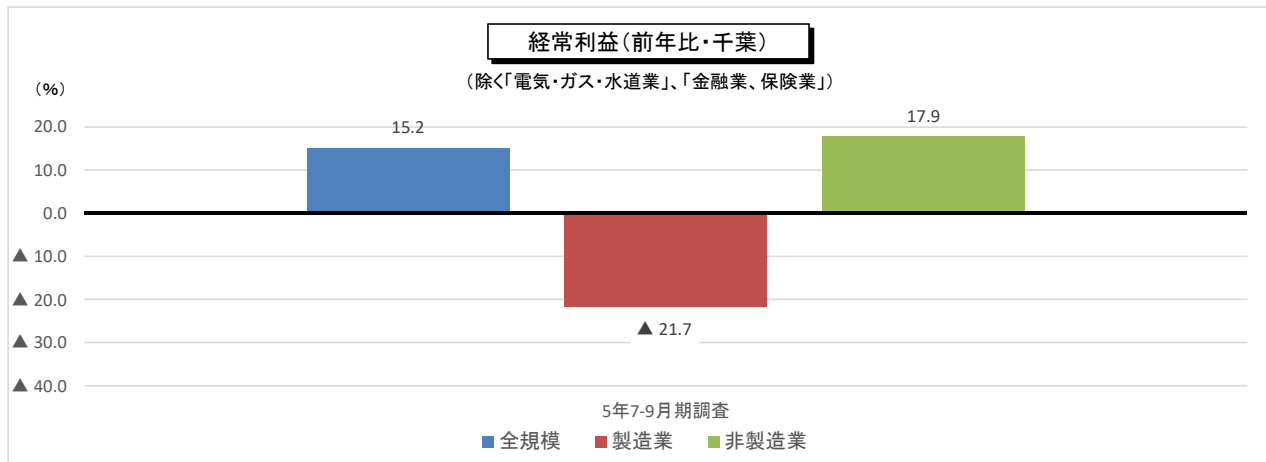
5年度は増加見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

#### 5. 企業収益

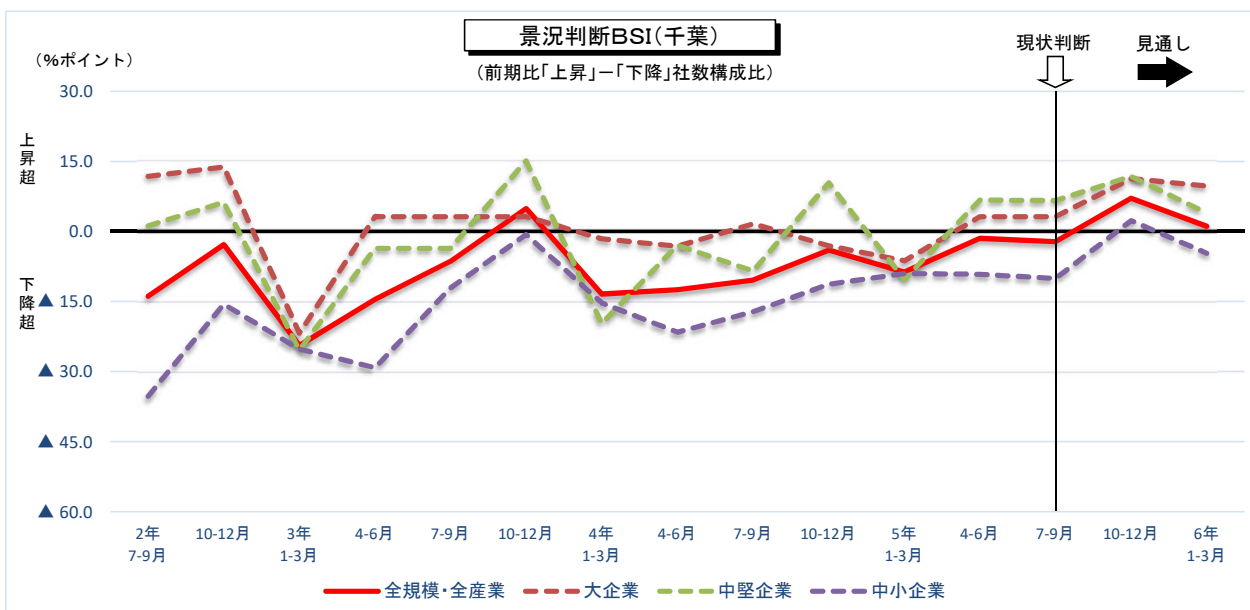
5年度は増益見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

#### 6. 企業の景況感

「下降」超となっている

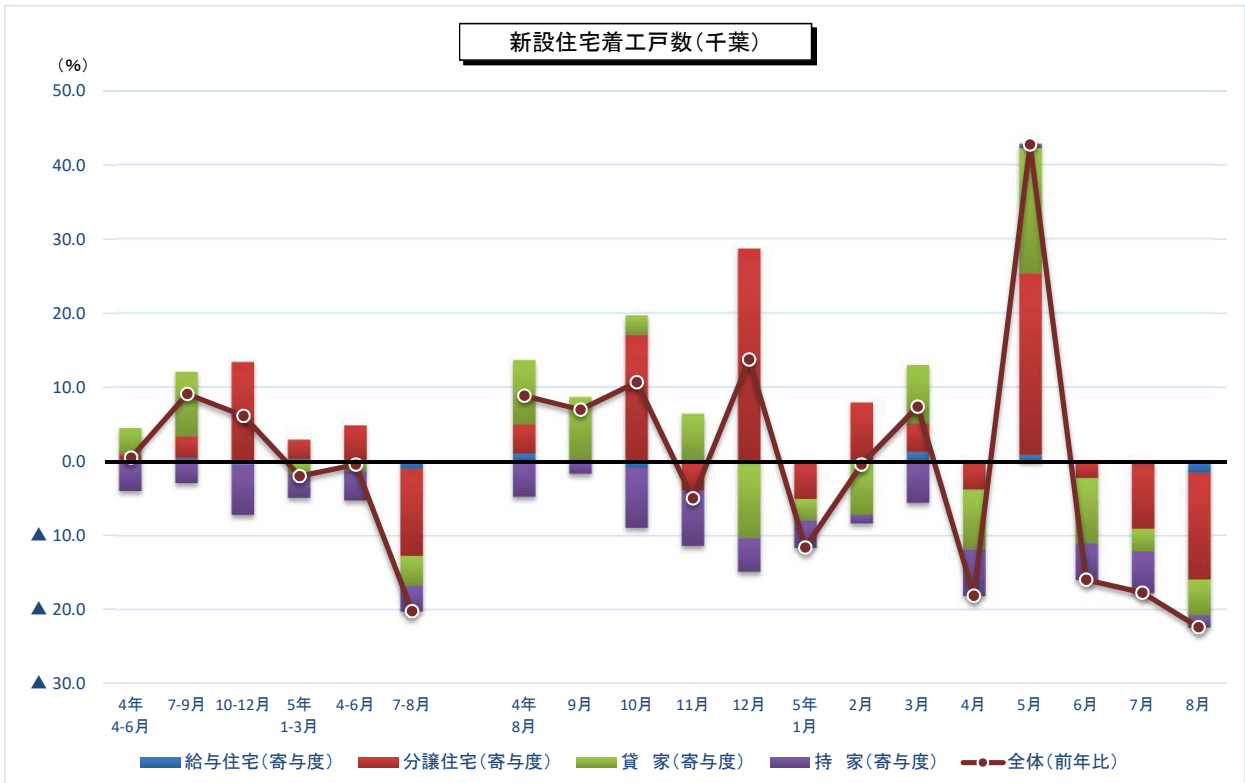


[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]



## 7. 住宅建設

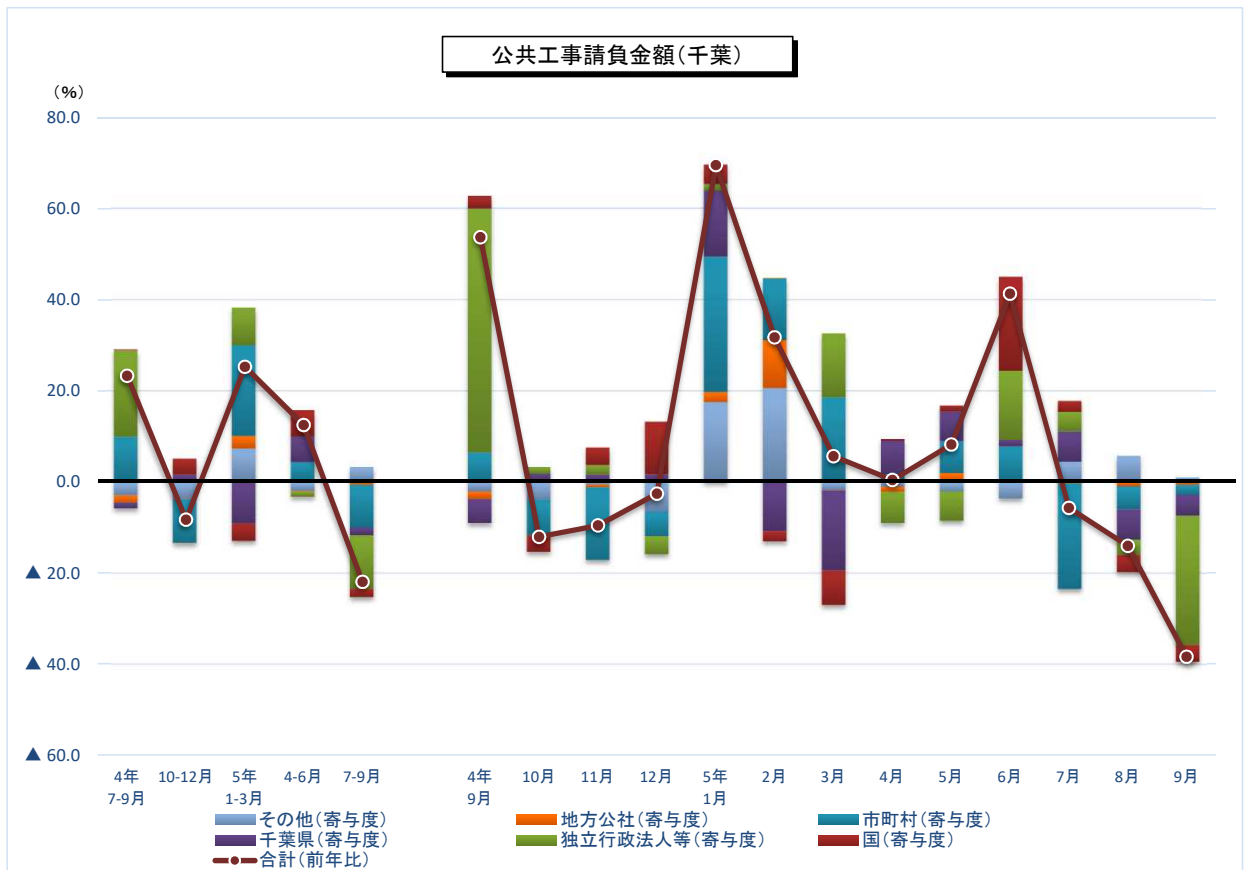
前年を下回っている



[国土交通省]

## 8. 公共事業

前年を下回っている



[東日本建設業保証株式会社]